

フロイント産業株式会社

2017年2月期第3四半期
スモールミーティング資料



(証券コード 6312)

2017年1月24日

第3四半期概況

- ジェネリック向けに機械・化成品ともに増収増益。
- 特別損失250百万円計上するも、純利益は黒字。

※累計（単位：百万円）

	2017/2期	2016/2期 第3四半期	2017/2期 第3四半期		昨年比増減	
	予想	実績	実績	年度進捗率 (%)	金額	%
売上高	20,000	13,081	14,767	+73.8	+1,685	+12.9
営業利益	1,900	727	1,441	+75.8	+713	+98.2
経常利益	1,900	784	1,486	+78.3	+702	+89.6
純利益	1,180	422	815	+69.1	+393	+93.1
一株純利益(円)	68.43	24.49	47.30	+69.1	+22.81	+93.1
設備投資	300	192	432	+114.1	+239	+124.6
減価償却費	320	247	239	+74.9	△8	△3.3
研究開発費	700	452	444	+63.4	△8	△1.8

(注) 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期第3四半期の一株利益は分割調整後に修正しております。

機械部門: 動向

- FREUND-VECTOR社は、下期に売上が偏重と中南米・欧州が伸び悩む。
- 産機向けはほぼ計画線のとおりに移。

※累計（単位:百万円）

	2017/2期 予想	2016/2期 第3四半期		2017/2期 第3四半期	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
売上高	14,150	8,663	+21.2%	10,003	+15.5%
単体	-	5,396	+14.6%	7,079	+31.2%
FREUND-VECTOR社	-	2,830	+18.7%	2,538	△10.3%
フロイント・ターボ社	-	712	+1.65%	1,030	+44.5%
営業利益					
【主要子会社】					
FREUND-VECTOR社	-	△10	-	150	-
フロイント・ターボ社	-	8	-	66	+657.7%
【地域別売上高】					
日本	-	5,304	+18.6%	7,040	+32.7%
北・中南米	-	1,993	+11.6%	1,906	△4.4%
欧州・アフリカ	-	730	+185.0%	424	△41.9%
中東・アジア・大洋州	-	635	+0.4%	632	△0.5%

機械部門：概況

- 医薬向け受注は、FREUND-VECTOR社が下期に偏重。
- 産機は前期比増収増益。

※累計（単位：百万円）

	2017/2期 予想	2016/2期 第3四半期		2017年/2期 第3四半期	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
受注高	-	9,671	+5.0%	12,243	+26.6%
受注残高	-	7,976	+10.4%	9,288	+16.5%
売上高	14,150	8,663	+21.2%	10,003	+15.5%
医薬品関連	-	7,787	+22.0%	8,228	+5.7%
産業関連	-	875	+14.4%	1,775	+102.7%
セグメント利益	-	578	△5.5%	1,154	+99.6%
為替 (円/ドル：+は円安)	110.0	120.9	+18.0	108.5	△12.4

化成品部門：概況

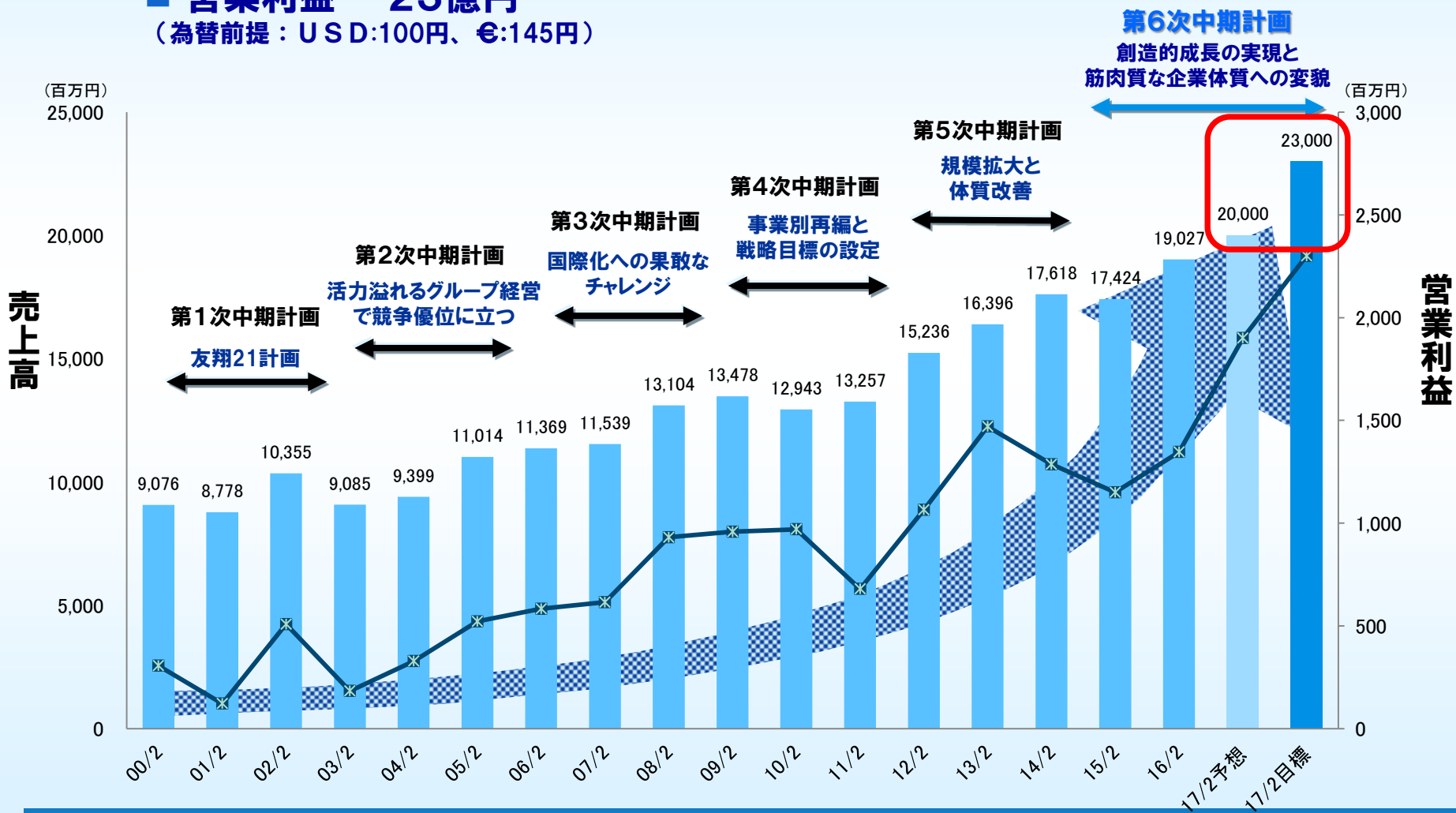
- 医薬品添加剤はジェネリック向けが伸長。
- 食品品質保持剤は計画未達。
- 新規食品は一部ユーザーの生産計画の上方変更で増収。

※累計（単位：百万円）

	2017/2期 予想	2016/2期 第3四半期		2017/2期 第3四半期	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
売上高	5,850	4,417	△9.1%	4,763	+7.8%
医薬品添加剤	-	1,600	+3.1%	1,765	+10.3%
食品品質保持剤	-	1,483	+2.3%	1,441	△2.8%
新規食品	-	1,334	△28.3%	1,556	+16.7%
セグメント利益	-	404	+25.7%	602	+48.7%

2017年2期（中計最終年度）目標

- 売上高 230億円
- 営業利益 23億円
- （為替前提：USD:100円、€:145円）



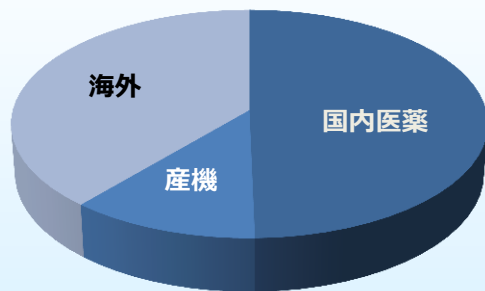
第6次中期経営計画期間の事業部別重点戦略

機械部門

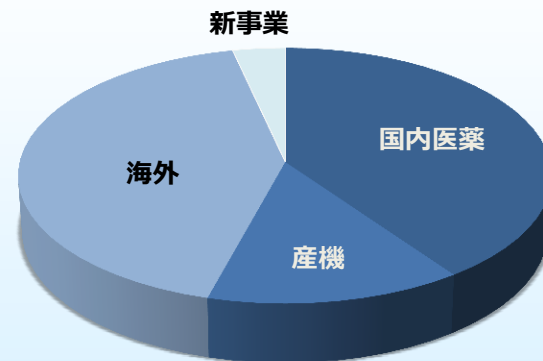
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 : 競争力強化
- アジア : 中国、インドに戦力集中
- 米州 : 新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 : スマイリーエリア^(注)（欧州・中東）での販売強化
- 産機 : 健康/食品向け強化と電池業界への本格参入
- **開発** : **市場ニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ**
- 生産 : フロイント・ベクターの工場増設と海外で部品生産検討

2014/2期（前中計の実績）
110億円



2017/2期計画（現中計最終年度）
142億円



(注) スマイリーエリア : Freund-Vector社のEU5周辺国・地域の社内呼称

第6次中期経営計画期間の事業部別重点戦略

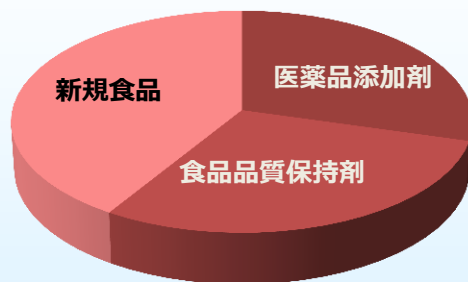
化成品部門

・・・新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : 先発・G E 薬の取り込み
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規事業開発
- 食品品質保持剤 : 製品ラインアップの拡充と営業強化
- 開発 : スピードアップと最低年間で1品目上市
- 生産 : 生産拠点統合やライン共有化でコスト削減

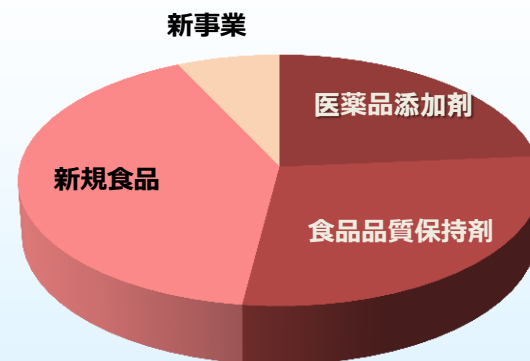
2014/2期（前中計の実績）

66億円



2017/2期計画（現中計最終年度）

88億円



新製品TABREX Rev.の状況①

- 開発期間:2015年1月～2016年6月
- 上市:2016年7月1日
- 販売開始:同年9月1日
- 現在、ユーザーの引合い・テスト中 → 20社 ユーザーテスト済



錠剤印字サンプル

錠剤印刷装置
TABREX Rev.
(外観検査機能搭載型)



新製品TABREX Rev.の状況② 特長

1) 生産規模に自在に対応できるフレキシビリティ

モジュラー方式

生産規模に応じて連結台数を自在に増減でき、将来の生産変動にもフレキシブルに対応できる、モジュラー方式としました。

10万錠/時



30万錠/時



50万錠/時

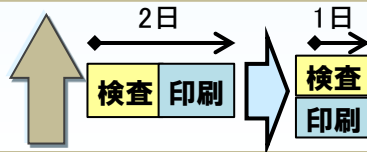
装置の小型化
高さ1800mm、巾1090mm

単列搬送のシンプルなメカ

錠剤を、円盤のエッジに一列に吸着させ、円盤から円盤へ受け渡ししながら、検査と印刷を行います。

2) 工程短縮・ランニングコスト低減

検査工程の追加不要



外観検査機能の装備

印刷前に錠剤の外観を検査します。

メンテナンスが容易

カートリッジ式の印刷ヘッドなので、洗浄が不要、交換が容易で、使うぶんだけを購入できます。

カートリッジ式ヘッド

印刷ヘッドはワンタッチで交換できるカートリッジ式です。

3) 錠剤品種への対応が容易

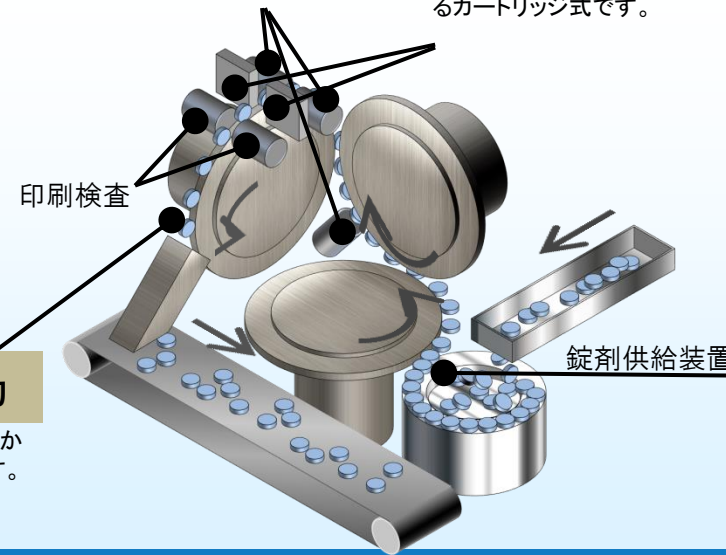
品種切替えが容易

大幅な部材追加や調整なしで、サイズちがいの錠剤に切り替えができます。



ガイドレスの錠剤搬送

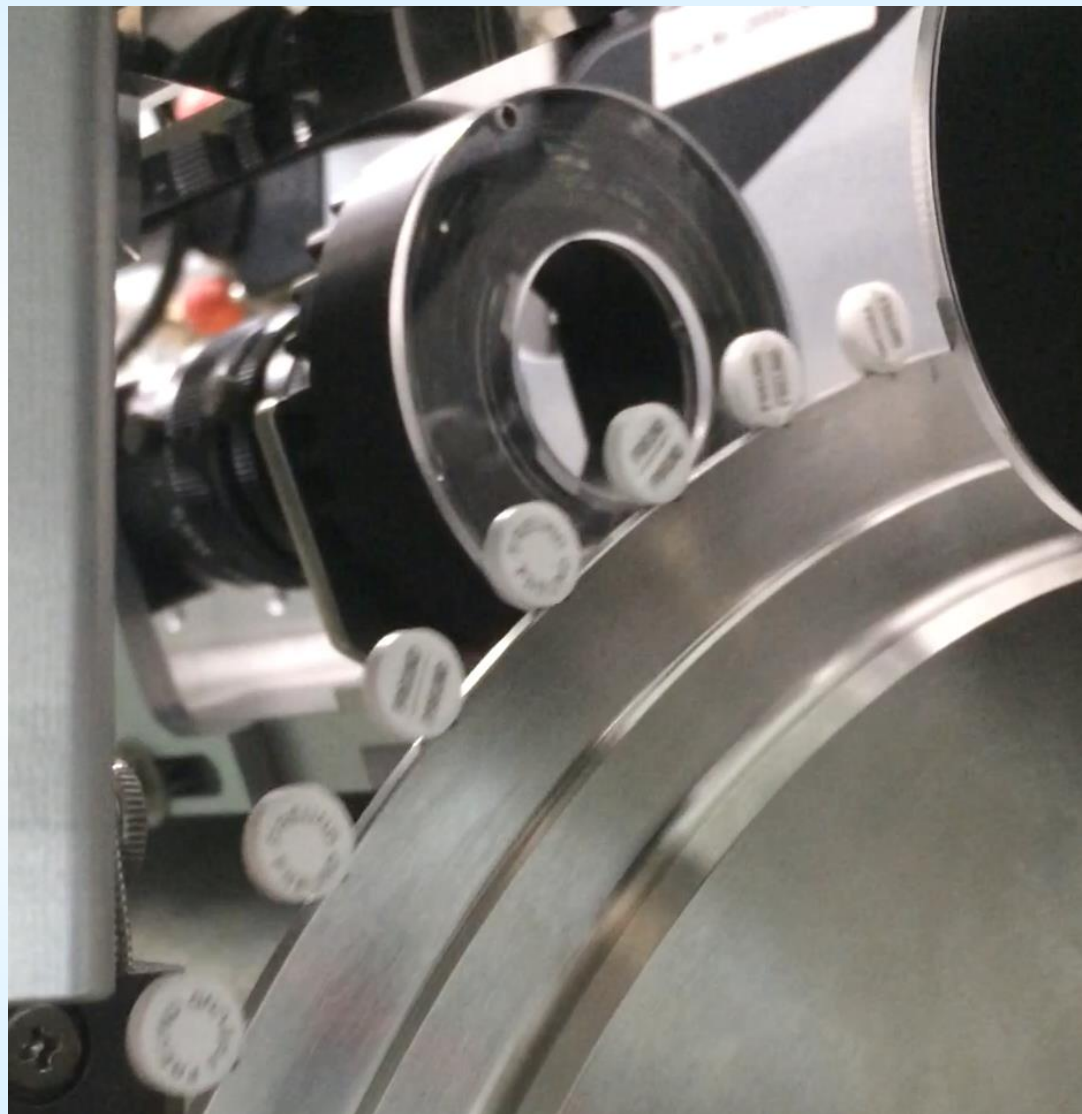
錠剤の外周をガイドレスで円盤のエッジに吸着させ、ピックアップしています。



印刷検査

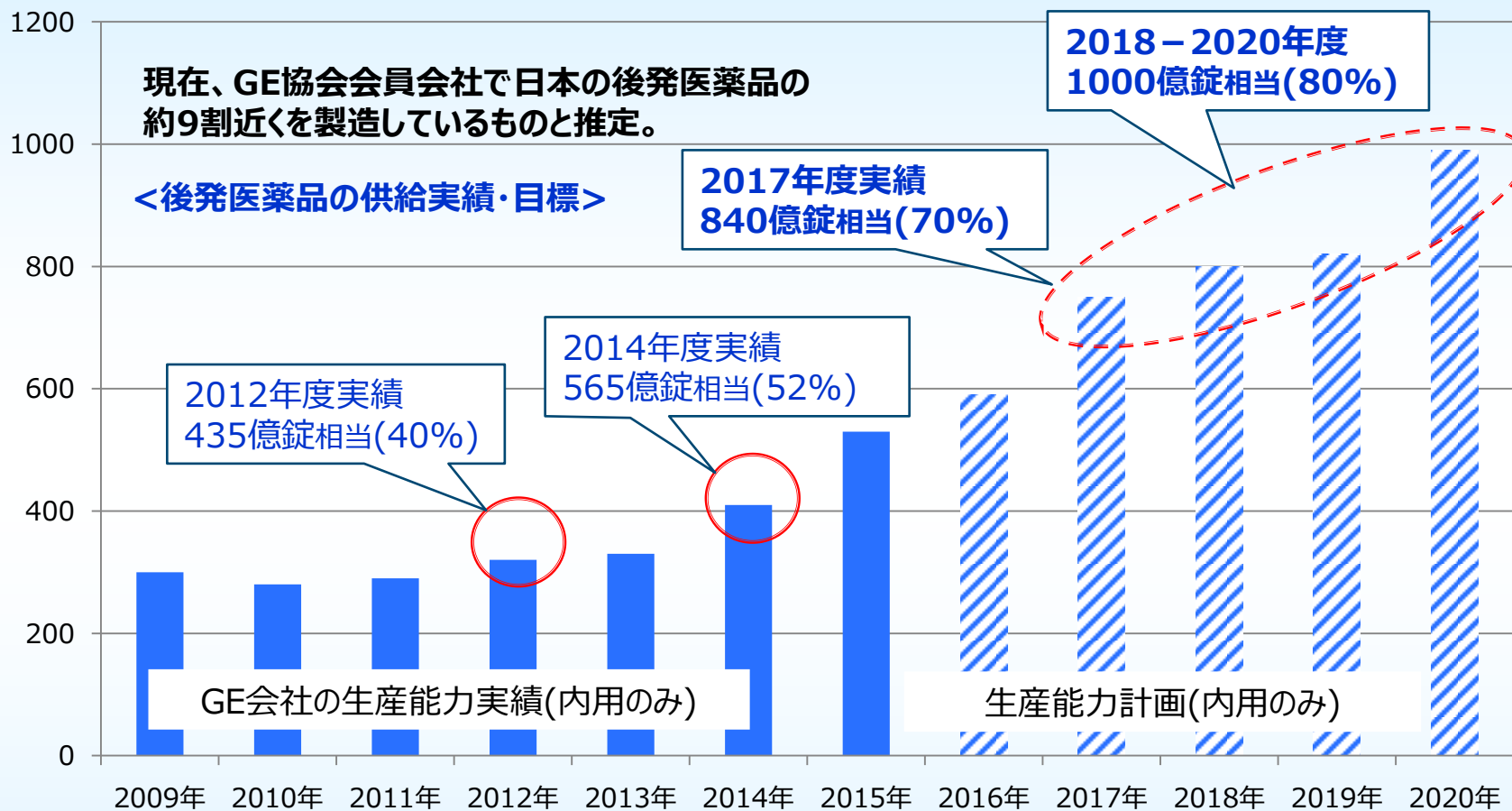
錠剤供給装置

新製品TABREX Rev.の状況③ 新錠剤搬送



後発医薬品企業の生産能力と設備投資等の状況

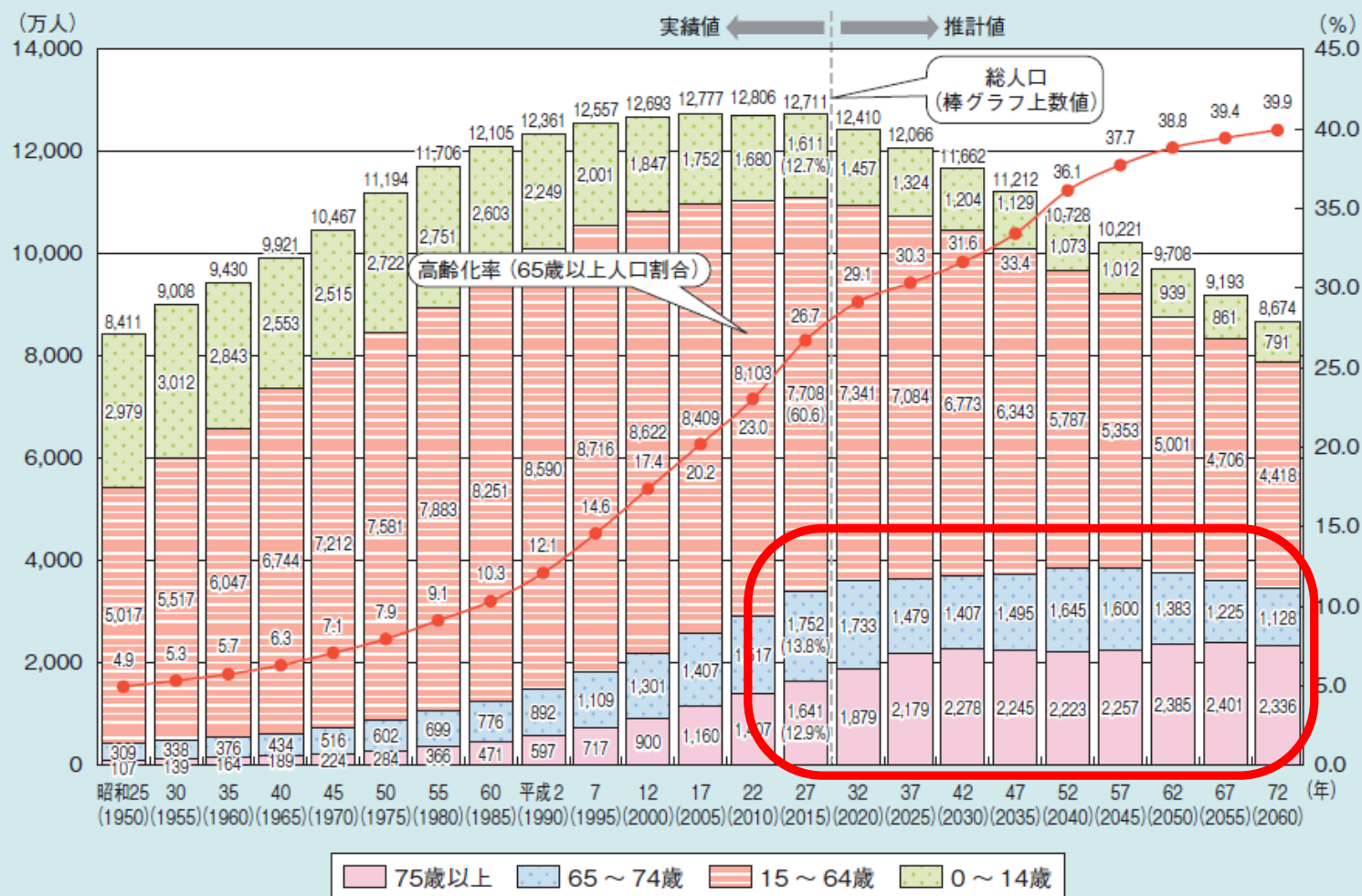
(単位：億錠)



設備投資実績 累計3,216億円

出典：日本ジェネリック製薬協会調べ
 (2015年7月 安定供給に関するアンケート)
 内用薬の生産能力(単位：億錠)について、
 会員会社の回答(実績・見込み)の合計

国内の2060年までの高齢化と人口動態の推移



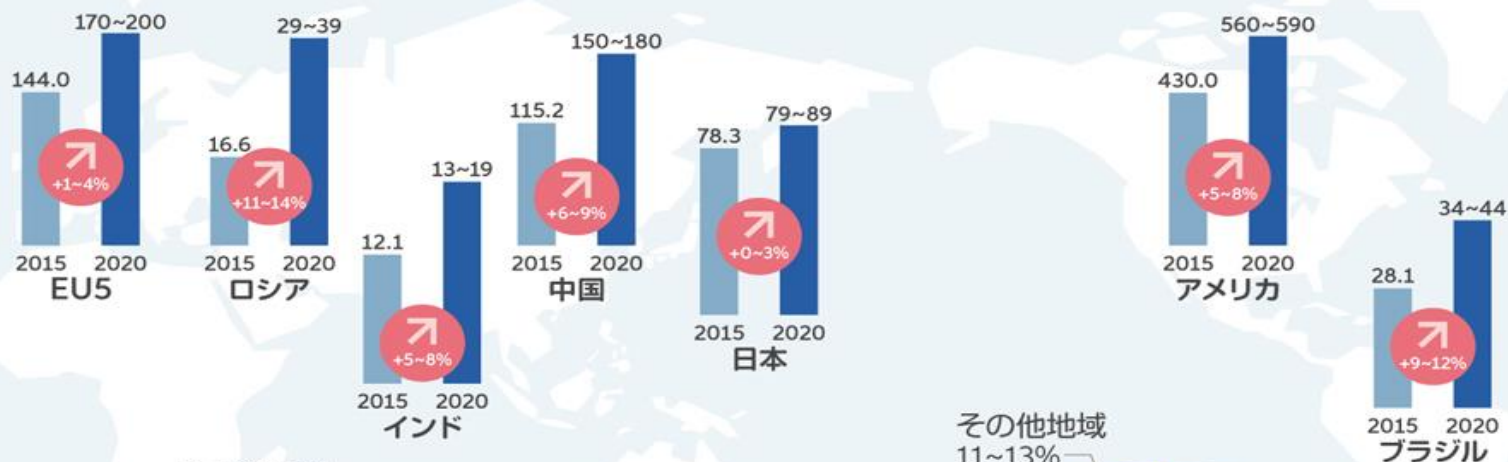
資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年は総務省「人口推計（平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値）」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

第6次中期経営計画期間の環境想定

世界医薬品市場は途上国が急拡大

地域別・主要国の医薬品支出

(単位：10億米ドル)



出所：IMS Market Prognosis, October 2015

注：1. US\$建て支出は変動為替レートにより計算

2. US\$建て年平均成長率 (CAGR) は、2015年第2四半期時点の恒常為替レートにより計算

3. 欧州5か国は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。